

令和2年度 白馬幼稚園 「自己評価および園関係者評価」

園の教育目標

“みんなのびのび えがおほかほか はくばっこ”

～ 白馬の恵まれた自然の中で 心豊かな子どもを育もう ～

2. 本年度の重点目標

- ・多くの豊かな体験活動から 科学的なものの見方や考え方ができる子
- ・失敗をおそれず どんなことにも 楽しく挑戦する子
- ・歌って自分を励まし、歌って仲間の輪を広げようとする子

3. 自己評価

A…十分達成されている

B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	A
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	A
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	A
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	A
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	A
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	A
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	A
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	A
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	A
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	A
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	A

4. 園運営の反省

・園の運営で細かな点で不十分なところは多い。これらのことは各反省で出されている。その都度最善策を講じ、改善に努めている。こうした見返しがあってAの評価である。

5. 園関係者評価

- ・園全体で子どもたちを見てくれているという実感があり、先生方の努力が見えるので意見は特にない。
- ・B評価の項目があったらすぐに対応していることも分かるので、A評価は納得できる。
- ・職員が少ない中で、全ての項目を手薄にならぬよう取り組んでいることが分かる。
- ・アンケート結果にも丁寧に対応していることも分かり、A評価は当然だと納得できる。

6. 次年度への課題

・園としては、評価の通り精一杯やってきた。職員の負担は大きいですが、前向きに努力してきたことはお互い認めていきたい。一人の職員が仕事の負担を感じ、不安を感じた時でも、みんなが支え合い、励まし合ったことはとてもよかった。園務の不均一が課題である。